



システムの健全性とイベント

Cloud Volumes ONTAP

NetApp
February 13, 2026

目次

システムの健全性とイベント.....	1
Cloud Volumes ONTAPのAutoSupport設定を確認する.....	1
AutoSupportの要件.....	1
AutoSupport構成のトラブルシューティング.....	1
Cloud Volumes ONTAPシステム用の EMS を構成する.....	4

システムの健全性とイベント

Cloud Volumes ONTAPのAutoSupport設定を確認する

AutoSupport は、システムの健全性をプロアクティブに監視し、NetAppテクニカル サポートにメッセージを送信します。デフォルトでは、各ノードでAutoSupportが有効になっており、HTTPS トランスポート プロトコルを使用してテクニカル サポートにメッセージを送信します。AutoSupport がこれらのメッセージを送信できることを確認することをお勧めします。

必要な構成手順は、Cloud Volumes ONTAP にアウトバウンドのインターネット接続があることを確認することだけです。詳細については、クラウド プロバイダーのネットワーク要件を参照してください。

AutoSupportの要件

Cloud Volumes ONTAPノードには、システムの健全性をプロアクティブに監視し、NetAppテクニカル サポートにメッセージを送信するNetApp AutoSupport用のアウトバウンド インターネット アクセスが必要です。

Cloud Volumes ONTAP がAutoSupportメッセージを送信できるように、ルーティングおよびファイアウォール ポリシーで次のエンドポイントへの HTTPS トラフィックを許可する必要があります。

- <https://mysupport.netapp.com/aods/asupmessage>
- <https://mysupport.netapp.com/asupprod/post/1.0/postAsup>

AutoSupportメッセージを送信するためのアウトバウンド インターネット接続が利用できない場合、NetApp Consoleは、コンソール エージェントをプロキシ サーバーとして使用するようCloud Volumes ONTAPシステムを自動的に構成します。唯一の要件は、コンソール エージェントのセキュリティ グループがポート 3128 経由の受信接続を許可していることを確認することです。コンソール エージェントを展開した後、このポートを開く必要があります。

Cloud Volumes ONTAPに厳密なアウトバウンド ルールを定義した場合は、Cloud Volumes ONTAPセキュリティ グループがポート 3128 経由のアウトバウンド接続を許可していることも確認する必要があります。



HA ペアを使用している場合、HA メディエーターは発信インターネット アクセスを必要としません。

送信インターネット アクセスが利用可能であることを確認したら、AutoSupportをテストして、メッセージを送信できることを確認できます。手順については、"[ONTAPドキュメント: AutoSupportのセットアップ](#)"。

AutoSupport構成のトラブルシューティング

アウトバウンド接続が利用できず、コンソールがCloud Volumes ONTAPシステムをコンソール エージェントをプロキシ サーバーとして使用するよう構成できない場合は、システムがAutoSupportメッセージを送信できないという通知がコンソールから表示されます。この問題に対処するには、次の手順に従ってください。

手順

1. ONTAP CLI を使用するには、Cloud Volumes ONTAPシステムに安全に接続します (SSH を使用)。

"Cloud Volumes ONTAPへのSSH接続方法を学ぶ"。

2. AutoSupportサブシステムの詳細なステータスを確認します。

```
autosupport check show-details
```

応答は次のようになります。

```
Category: smtp
  Component: mail-server
  Status: failed
  Detail: SMTP connectivity check failed for destination:
          mailhost. Error: Could not resolve host -
'mailhost'
  Corrective Action: Check the hostname of the SMTP server

Category: http-https
  Component: http-put-destination
  Status: ok
  Detail: Successfully connected to:
          <https://support.netapp.com/put/AsupPut/>.

  Component: http-post-destination
  Status: ok
  Detail: Successfully connected to:
          https://support.netapp.com/asupprod/post/1.0/postAsup.

Category: on-demand
  Component: ondemand-server
  Status: ok
  Detail: Successfully connected to:
          https://support.netapp.com/aods/asupmessage.

Category: configuration
  Component: configuration
  Status: ok
  Detail: No configuration issues found.

5 entries were displayed.
```

http-httpsカテゴリのステータスが OK これは、AutoSupportが適切に構成されており、メッセージを送信できることを意味します。

3. そうでない場合は、各Cloud Volumes ONTAPノードのプロキシ URL を確認します。

```
autosupport show -fields proxy-url
```

4. プロキシ URL パラメータが空の場合は、コンソール エージェントをプロキシとして使用するよう
にCloud Volumes ONTAPを構成します。

```
autosupport modify -proxy-url http://<console agent private ip>:3128
```

5. AutoSupport のステータスを再度確認します。

```
autosupport check show-details
```

6. ステータスがまだ失敗の場合、ポート経由でCloud Volumes ONTAPとコンソールエージェント間の接続が
あることを確認してください。 3128。
7. 検証後もステータスが失敗の場合は、コンソール エージェントに SSH で接続します。

"コンソールエージェントの Linux VM への接続の詳細"

8. へ移動 /opt/application/netapp/cloudmanager/docker_occm/data/。
9. プロキシ設定ファイルを開く squid.conf。ファイルの構造は次のとおりです。

```
http_port 3128
acl netapp_support dst support.netapp.com
http_access allow netapp_support
request_header_max_size 21 KB
reply_header_max_size 21 KB
http_access deny all
httpd_suppress_version_string on
```

10. ファイルにCloud Volumes ONTAPシステムの CIDR ブロックのエントリがない場合は、新しいエントリを
追加してアクセスを許可します。

```
acl cvonet src <cidr>
```

```
http_access allow cvonet
```

次に例を示します。

```
http_port 3128
acl netapp_support dst support.netapp.com
acl cvonet src <cidr>
http_access allow netapp_support
http_access allow cvonet
request_header_max_size 21 KB
reply_header_max_size 21 KB
http_access deny all
httpd_suppress_version_string on
```

11. 設定ファイルを編集した後、プロキシコンテナを再起動します。 sudo。次に、Docker または Podman

のどちらを使用しているかに応じて、次のコマンドを実行します。

Dockerの場合は、`docker restart squid`。

Podmanを使用している場合は、`podman restart squid`。

12. ONTAP CLI に戻り、Cloud Volumes ONTAP がAutoSupportメッセージを送信できることを確認します。

```
autosupport check show-details
```

関連リンク

- ["AWS におけるCloud Volumes ONTAPのネットワーク要件"](#)
- ["Azure のCloud Volumes ONTAPのネットワーク要件"](#)
- ["Google Cloud のCloud Volumes ONTAPのネットワーク要件"](#)

Cloud Volumes ONTAPシステム用の EMS を構成する

イベント管理システム (EMS) は、ONTAPシステムで発生するイベントに関する情報を収集して表示します。イベント通知を受信するには、特定のイベント重大度に対してイベントの宛先 (電子メール アドレス、SNMP トラップ ホスト、または Syslog サーバー) とイベント ルートを設定できます。

CLI を使用して EMS を設定できます。手順については、"[ONTAPドキュメント: EMS構成の概要](#)"。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。